



田中小だより

平成29年度
3月号

昭島市立田中小学校 〒196-0014 昭島市田中町三丁目4番地1号 電話：042-543-1511 校長 土屋 正登

「殖ゆ」(冬)と「張る」(春)

校長 土屋 正登

先日、1年生の教室をのぞくと、それぞれが何をするのかをしっかりと理解して、落ち着いて学習をしていました。かわいい胸に期待と不安を抱いて入学した一年生もりっぱに成長し、今では、たくましささえ感じます。各学年とも進級する大きな希望に胸をふくらませています。

63名の六年生は、六年間の学習のまとめや卒業文集の制作等、忙しい日々を送っています。中学校への進学を前に、田中小学校の全職員で温かく指導し、爽やかに送りだそうと力を尽くしている最中です。

来週、3月5日(月)の児童朝会に次のような話を子供たちにします。

「冬」というのは、自然や生命が「殖(ふ)える」という「殖ゆ」からきたことばといわれています。校庭の桜の木の枝には、たくさんのつぼみがついています。また、ほかの植物も春に備えて、着々と準備を整えています。

「冬」の間に自然や生命がどんどん殖(ふ)えて、つぼみとなっています。このつぼみが、はち切れんばかりにふくらんでくるのが「春」です。つぼみが「張る」のです。このはち切れんばかりに張って、外に飛び出してくる季節を「春」と呼んだのです。花が咲くというのは、つぼみがもうこれ以上待ちきれなくなって、破れて外に現れ、花を開くということです。

それぞれの学年で学習したことを確かめ、しっかりと身につける時期です。各学年で学習したことをたくさん蓄えることです。木々のつぼみをたくさん殖やすのと同じことです。

学習したことがしっかりと身につくと、次の学年が待ち遠しくなります。4月に一人一人がたくさん花を咲かせてほしいと思います。

平成29年度の教育活動に対してご支援・ご協力いただきありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。